



星空のたより

2022年特別号
岐阜市科学館
岐阜市本荘 3456-41
TEL 058-272-1333



ドッシー

見たか！？

皆既月食（かいきげっしょく）&天王星食（てんのうせいしょく）！！
～赤銅色（しゃくどういろ）にそまるしんぴの月～

皆既月食になるしくみは11月号で説明してあるからわかっていると思うけど、もういちど説明しておくぞ。太陽—地球—月が一直線になったとき、地球のかげに月が入り込んで、月にあたる太陽の光が地球にさえぎられるとおきるげんしょうだ。それが11月8日（火）に岐阜市の夜空でも見る事ができたぞ！実際に見て、ドッシーはとても感動したぞ。

まずは、赤銅色だ。赤黒いというか、なんだか不思議でしんぴ的な色をしていたな。そして、地球のかげが月までのびていることがかんじられたぞ！みんなも皆既月食をみてくれたか？？

つぎに、皆既月食のさいちゅうに天王星食というげんしょうも同時におきていたことだ。月が天王星（惑星（わくせい）の一つ）をかすげんしょうのことだ。皆既月食中に惑星食がおこるのはとてもめずらしくて、日本では442年ぶりだったんだぞ。442年前というと、イタリアのてんもん学者だった「ガリレオ・ガリレイ」が木星（もくせい）を観察するまえの時代だ。そして、岐阜市に息づいている織田信長公が46歳のころだ。



岐阜市科学館では、午後6時から午後8時30分まで、「皆既月食を見る会」をやっていたぞ。お客様が70名ほど参加されたぞ。お客様のかんそうをしょうかいしよう。

「うつくしい！！」「赤銅色にかんどうした！」

「皆既月食になっても、月がそこにあることがちゃんとわかるんや！」

「地球のかげがそこにあるんやね！」

「月が欠（か）けているさかいめのクレーターにかんどうした」

つぎに、日本中で見られる皆既月食は2025年9月8日だぞ。あと3年ほどだが、今回見逃した人はぜひ見てくれ。

